

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：4/29～5/3

・ 4/29(月)

悠仁さまの机に「包丁 2 本」で男を逮捕、天皇陛下明日退位の儀式、スペイン総選挙、戦没者慰霊、経産省キャリア官僚を麻薬等取締法違反の疑いで逮捕などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、スペイン総選挙については放送法上問題と考えられる箇所が見られました。また、戦没者慰霊については検証者の所感を記しました。

・ 4/30(火)

即位と退位の儀式、悠仁さまの学校に男が侵入、IS バグダディ容疑者生存かなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

・ 5/1(水)

皇位継承問題、新天皇陛下即位で各国首脳らが祝意などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、皇位継承問題については複数の点で放送法上問題と考えられる報じ方がなされていました。

・ 5/2(木)

『令和』人々の声、天皇陛下の英国留学、中学侵入容疑者が供述などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上問題と考えられる箇所は見られませんでした。なお、天皇陛下の英国留学については検証者の所感を記しました。

・ 5/3(金)

令和初の憲法記念日、トランプ大統領のイラン制裁、金正男殺害事件などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、令和初の憲法記念日については放送法上問題と考えられる場面が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月29日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：悠仁さまの机に「包丁2本」で男を逮捕、天皇陛下明日退位の儀式、スペイン総選挙 戦没者慰霊、経産省キャリア官僚を麻薬等取締法違反の疑いで逮捕		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・悠仁さまの机に「包丁2本」で男を逮捕 ・10連休まだ3日目 ・天皇陛下明日退位の儀式 ・スペイン総選挙 ・小出義雄監督の告別式 ・戦没者慰霊 ・スポーツ報道 ・23Today 悠仁さまの机に「包丁2本」で男を逮捕 改元まであと10日 「怒羅権」初代総長を逮捕 大阪府寝屋川市で女性が原付バイクで出勤中に道路上のロープに引っかかり転倒 経産省キャリア官僚を麻薬等取締法違反の疑いで逮捕 <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・悠仁さまの机に「包丁2本」で男を逮捕：結論→特に問題なし 秋篠宮家の長男、悠仁さまが通われる中学校に男が侵入し悠仁さまの机に包丁が置かれた事件で、警視庁が住所・職業不詳の自称長谷川薫容疑者を逮捕したとのが報じられた。 このトピックに当てられた時間は567秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・天皇陛下明日退位の儀式：結論→特に問題なし 明日は午後5時から公民に退位を知らせる退位礼正殿の儀が行われ天皇陛下が国民に向けた最後のお言葉を述べるとのこと、明後日5月1日午前0時に令和に改元し午前10時半からは剣璽等承継の儀が行われ新しい天皇陛下に皇位の印である剣と勾玉に天皇の印である御璽と日本国の印である国璽が引き継がれること、午前11時10分では天皇陛下が初めて国民の代表者と面会される即位後朝見の儀が行われ新皇后の雅子様もともに出席されることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は154秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・スペイン総選挙：結論→不十分 スペインの総選挙で極右政党VOXが躍進し初めて国政進出を果たしたこと、背景にはヨーロッパを覆うあの 		

移民の問題があるとのことが伝えられ、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"櫻井雄亮（報告）「極右政党 VOX のアバスカル党首が壇上に上がりました。」

ナレ「29 日行われたスペインの総選挙で反移民を掲げる極右政党 VOX が躍進を果たしました。議席 0 から一気に 24 議席も獲得したのです。」 "

アバスカル党首「24 人の議員が誕生した、本当に奇跡が起きた。」

ナレ「アバスカル党首はスペインのトランプと言われ、掲げるスローガンもトランプ大統領とそっくりです。極右政党がなぜここまで躍進を遂げたのでしょうか、背景にあるのはやはり移民問題です、スペインは北アフリカモロッコと接する小さな飛び地を 2 つ持っています。アフリカ各国から逃れてきた人々はこの地続きの国境さえこえればスペインに入国できるのです。移民たちはあの手この手でフェンスの突破を図ります。国境の検問所にやってきた車の上に載せられたマットレス、スペインの警備隊がマットレスを引き裂くと、密入国しようとした二人の移民が出てきました、過去にはスーツケースに 8 歳の男の子を隠して密入国しようとしたケースも有りました。大人数でフェンスに殺到し強行突破する方法もあります。移民の側は人数で警備隊の数を圧倒するのです。ヨーロッパのちを踏んで喜ぶ人々ですがフェンスを超える際に有刺鉄線で深い傷を負う人がたくさんいます、こうした陸の国境に加えて海を渡る移民も急増しています。かつてはイタリアが移民の玄関口でしたが新しい政権が受け入れ拒否に転じたためスペインに流入する移民の数が前年の二倍となったのです。しかし、命がけで渡ったスペインの環境は悪化する一方です。」

"櫻井雄亮「今、車に移民が乗り込みました。」

ナレ「街角で夜明け前からたっているのは日雇いの仕事を求める移民の人達です。スペインの人たちを最低賃金を下回る賃金で支えてきたのはこうした移民の人達でした。しかし。」

オサラ・サラグさん（ナイジェリア移民）「見ての通り、みんなが食を求めています、仕事にありつけません。」

ナレ「住民が移民を見る目も日に日に厳しくなってきます。」

スペイン住民「移民の多くは犯罪をしにやってきます。」

スペイン住民「もう限界、これ異常移民はいらないよ。」 "

"VOX 副代表「イスラム主義の侵略は家族の敵、命に対する敵、将来の敵だ。」

ナレ「移民やイスラム教徒への敵意を煽っていないか、極右政党の党首に直接質問をぶつけました。」

インタビュアー「なぜイスラム教徒を攻撃するのか」

アバスカル党首「答えられません。」 "

ナレ「初めて議席を得た極右政党 VOX はスペイン社会をどう変えるのでしょうか。」

またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「こちら、ピンク色で示しているのがヨーロッパで台頭している主な極右政党なんですがフランス（国民連合）、スペイン（VOX）、イタリア（同名）、ドイツ（ドイツのための選択肢）、それからスウェーデン（民主党）と、星さん、各地に広がってますね。」

星浩「そうですね、共通してるのはその移民難民受け入れに反発するのと、それから若い人の失業問題というもありますね、それからトランプ大統領が登場してアメリカで移民規制をし始めたことに勢いをつけているということもありますよね、ただそのヨーロッパ、ある意味、ご存知のように移民と共生して今日の繁栄を築いてきたという面もあるわけですよ、今回のスペインの場合でも、ヨーロッパ全体で移民問題を穏健に考えましょ

うっていう与党、社会労働党が第一党になっているということもありましてね、これからヨーロッパ全体で移民問題、それから排外主義にどうやって向き合うのかっていうことを考えるのかっていう局面になると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 315 秒だった。

VTR ではアフリカからの移民がスペインがアフリカ大陸に持つ飛び地の領土を使っての入国を目指していたり、その手段が密入国だったりということも触れられていたが、VOX についての説明やスタジオでのやり取りは、密入国・不法滞在という点が抜け落ち、移民受け入れ全般に対する態度という論点にすり替えられていた。

正規の手段での入国や合法的な滞在についても反対し、そもそも外国人の流入それ自体に反対していくというのであればそれは排外主義と言えるのかもしれないが、密入国や不法移民を防ぐという話であれば、国境管理、入国管理として当然のことであり、それだけでは排外主義とは言えないはずであり、重要なのは合法的な入国と密入国への対応がどう違うのかということであり、そうした点に触れずに、移民への賛否に論点をすり替えて排外主義だと論ずるのは、いささか偏った取り上げ方と言える。そうして点については放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同三号「報道は事実をまげないですること」に照らすと不十分なものであったと言える。

・戦没者慰霊：結論→特に問題なし

雨宮キャスターの「シリーズでお伝えしてきた、歌とともに振り返る両陛下の歩み、最後となる今日は両陛下が戦没者、中でも民間の犠牲者に寄せられてきた思いに迫ります。」というコメントで導入がされ、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"音声「いくさびにゆきしふなびとをいたむひのかなたにみゆるうみたいらけし」

ナレ「天皇陛下が思いを込めて読まれた歌、戦火にゆきし船人、それは第二次世界大戦で軍に徴用され犠牲になった民間の船員戦没船員のことです。今年 1 月、両陛下はこの石碑がある横須賀の観音崎を訪れていました。船員への慰霊のためです。戦時中、軍は兵士や物資の輸送のため、商戦や漁船など多くの民間の船を戦時徴用線として戦地に駆り出しました、海底に沈んだ徴用船はおよそ 7000 隻、命を失った民間の船員は 60000 人を超えました、しかし、この事実は軍事機密として扱われ戦後も広く知られることはありませんでした。多くの船と船員を失った船会社の一つ、大阪商船、現在の商船三井です。」

ナレ「生存者の証言を元に戦時中密かに描かれた 37 枚の記録画が見つかっています。天皇陛下万歳、そう叫びながら船とともに沈んでいった船長、徴用線の多くは武装しておらず護衛もしていなかったことからアメリカ軍の標的となり、次々に撃沈されていきました。病院船として徴用され、沈没したぶえのすあいれす丸、人がひしめく救命ボートで女性に席を譲る自ら海に飛び込んだ船員の姿。」

"小山田博さん（元船員の生存者、96 歳）「本当にこう穏やかですけどね、この海を私もこうずーっと渡って戦地へ向かっていったんです。」

ナレ「貴重な体験を語ることができる生存者の一人、小山田博さん 96 歳、南の島から日本に重油を運ぶ最中、フィリピンのマニラ付近で魚雷攻撃を受けたといいます。」

小山田さん「が一んでいってあたってと同時に、私はブリッジで高いほうですよ、バーっとう、海水やら油やらなんやらわからないんですけど、目にぶわーって顔にあたって、魚雷攻撃で木っ端微塵と言ってもいいく

らいめちゃくちゃに壊れて吹き上げられた。」

ナレ「小山田さんは二度に渡ってアメリカ軍の攻撃を受けましたが奇跡的に生き延びました。しかし、民間人の犠牲は長らく、注目を集めることがありませんでした、これに光を当てたのが両陛下だったのです。」 "

"天皇陛下（平成 27 年）「制空権がなく、輸送船を守るべき、軍艦などもない状況下でも、輸送業務に携わなければならない船員の気持ちを本当に痛ましく思います、」

ナレ「平成 27 年、戦後 70 年の異例の旅でも戦没船員追悼の地である横須賀観音崎を訪問された両陛下、これまでは近いこの地を訪れています。」 "

小山田さん「(同僚たちも) ちょっとは日の目を見た。で。自分たちの苦労も多少なりともちょっと報われたかなあ、というふうに思っただけじゃないかなあとと思いますけどね。」

"ナレ「こうしたたび重なる慰霊は遺族の肉親の最期を知る切掛けにもなりました。井関能雄さん 75 歳、父鶴雄さんは乗船した船が北海道の沖合で潜水艦の魚雷攻撃を受け、なくなっていまず、井関さんが後 10 ヶ月のときでした。70 歳を過ぎるまで、父の最期について詳しく知ることができなかったという井関さん、

井関能雄さん（船員の遺族）「解明のカギを与えてくれたのが、平成 27 年の陛下と皇后陛下が観音崎公園にいかれたニュースで、」

ナレ「井関さんは追悼式を主催する団体に問い合わせ、父親が乗船した船について記された資料にたどり着けました。」

資料「おおっぴらには言えないがこの戦争は負ける、今度は恐らく生きて帰れないだろう、船が沈めば船長は運命を共にする。」

井関さん「船長の岩場、遺言的な家族に残した便り、すべての乗組員の思いを変わりに船長が綴ってもらったんじゃないかな、と多分父も恐らくこういう思いだったんだろうな、と。」

ナレ「70 年の時を経てようやく父の最期を知ることができた、井関さん。」

井関さん「感謝しかないですね。」

ナレ「昭和 46 年、両陛下は雨の中傘もささず花をたむけられました。その時のことを歌に詠まれた美智子様。今も海の底に沈む船員たちの最後に思いを馳せた歌なのです。」

音声「かくぬれていぞくらといのるさらにさらにひたぬれてきみらゆきたまいしか」

ナレ「平成の間、先の大戦の鎮魂と戦争のない未来を祈り続けられた天皇皇后両陛下、その姿は戦争でなくなった人々にどう写っているのでしょうか。」 "

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「戦没者の慰霊に全身全霊で向き合っただけでこられた両陛下ですが、その思いの重さというのはあまり知られていないね、この船の民間の船の犠牲者に対しても全く同じだということが改めてわかりました。」

星浩「陛下は軍の歴史だけではなくて民間の犠牲者の歴史についても非常に深くね、研究されてきたんですけども今回ね、平成が幕を閉じるにあたって陛下のその戦争犠牲者に対する追悼と慰霊の姿勢がね、まあ評価されているんですけども、しかしよく考えなくちゃいけないのはこの追悼と慰霊、実はね、我々国民がやらなくちゃいけないことでもあるわけですよ、ですから今回の陛下の姿勢を我々も見て、自分たちの問題として受け止める必要があると思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 566 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・経産省キャリア官僚を麻薬等取締法違反の疑いで逮捕：結論→特に問題なし

経済産業省のキャリア官僚が末端価格132万円相当の覚醒剤が入った郵便物を受け取ったとして現行犯逮捕されたとのこと、警視庁によると覚醒剤はアメリカから届いたファッション誌の袋とじの中に隠されていたといふことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は21秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・戦没者慰霊

星キャスターは「陛下は軍の歴史だけではなくて民間の犠牲者の歴史についても非常に深くね、研究されてきたそうですけれども今回ね、平成が幕を閉じるにあたって陛下のその戦争犠牲者に対する追悼と慰霊の姿勢がね、まあ評価されているんですけども、しかしよく考えなくちゃいけないのはこの追悼と慰霊、実はね、我々国民がやらなくちゃいけないことでもあるわけですよ、ですから今回の陛下の姿勢を我々も見て、自分たちの問題として受け止める必要があると思いますね。」と述べていた。しかし、追悼と慰霊については靖国神社を巡る問題などもある。そうした中で星キャスターが「この追悼と慰霊、実はね、我々国民がやらなくちゃいけないことでもある」とコメントしていたことについては注目に値するだろう。

また、「我々国民がやらなくちゃいけないことでもあるわけですよ、ですから今回の陛下の姿勢を我々も見て、自分たちの問題として受け止める必要があると思いますね。」というコメントしていたが、70年前の戦争の追悼と慰霊をなぜ現在を生きる国民が「やらなくちゃいけない」のか、自分が当事者として関わったものでもないことについてなぜ「自分たちの問題として受け止める必要がある」のか、その理由について星キャスターは語ってはいけなかったのは残念だった。この問題はおそらく世代・年齢によって受け止め方が大きく異なるのではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月30日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙</p> <p>小田部雄次（静岡福祉大学名誉教授、皇室制度に詳しい）</p> <p>伊藤美誠（平成12年生まれ、卓球選手）</p> <p>ケイン樹里安さん（平成元年生まれ、文化社会学者）</p> <p>トラウデン直美さん（平成11年生まれ、モデル、慶應義塾大学法学部政治学科学生）</p> <p>きゅりーぱみゅぱみゅ</p>		
<p>検証テーマ：即位と退位の儀式、悠仁さまの学校に男が侵入、IS バグダディ容疑者生存か</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和」まであと1時間の列島各地の様子 ・退位と即位の儀式 ・悠仁さまの学校に男が侵入 ・IS バグダディ容疑者生存か ・令和は雨スタート ・スポーツ報道 ・令和の予測年表 ・さようなら「平成」 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即位と退位の儀式：結論→特に問題なし 天皇陛下は今日で退位の儀式をすべて終わられ午前0時をもって退位され同時に皇太子さまが新天皇に即位されるのとこと、天皇陛下の今日一日の動きについて報じられた。このトピックに当てられた時間は648秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・悠仁さまの学校に男が侵入：結論→特に問題なし 秋篠宮家の長男悠仁さまの中学校の机にナイフが置かれた事件で逮捕された56歳の男が防犯カメラの配線を切断して逃走したとみられることが新たにわかったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は113秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・IS バグダディ容疑者生存か：結論→特に問題なし 過激派組織イスラム国の指導者とされるバグダディ容疑者のものとされる映像が新たに公開されたとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は30秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月1日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
ゲスト：小田部雄次（近現代の皇室制度などを研究 静岡福祉大学名誉教授）		
検証テーマ：皇位継承問題、新天皇陛下即位で各国首脳らが祝意		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新天皇が即位 ・両陛下のこれまでの歩み ・皇位継承問題 ・混乱のベネゼエラ ・吉野家に車が突っ込むが運転手の男は逃走中 ・羽田発熊本行きの日全空機が異常検知で中部空港に着陸 ・武蔵陵墓地に男性遺体 ・令和元年 新時代到来！ ・スポーツ報道 ・新天皇陛下即位で各国首脳らが祝意 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇位継承問題：極めて多くの点で問題あり <p>皇位継承問題について雨宮キャスターの「今日の儀式では今、皇室が直面している課題が浮き彫りになりましたよね。宇内さん。」というコメントに宇内キャスターが「はい、そうなんです、こちらの二枚の写真をご覧ください、昭和64年に現在の上皇様が天皇陛下に即位されたときの儀式と、今日新たに即位されたときの儀式の様子を比べてみました、こちらが前回の様子です、中央に現在の上皇さま、その両脇に立たれているのが成人の男性皇族です、立ち会われているのは全部で6人、一方でこちらは今日の儀式です。新天皇の脇には秋篠宮様と常陸宮様のふたりだけです、このように男性皇族が減りゆく中、皇室制度のあり方が改めて問われています。」と応える形で導入がされ、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「皇室典範は皇位継承についてこう定めています、皇位は皇統に属する男系の男子がこれを継承する、父方に天皇の血筋を引く男性しか天皇になれないのです、現在の皇室18人の打ち、30代以下は7人、悠仁さまを除く、6人全員が女系で結婚すれば皇籍を離れます、近い将来、若い皇族は悠仁さまだけになる可能性があるのです、皇位継承を安定させるための策は待ったなしの状況です、その議論が本格的に行われたのは小泉政権時代でした、当時、皇室では九人連続で女のお子さまが続いたため、小泉元総理は女性天皇や母方に天皇の血筋を引く女系天皇を認めるべきかどうか検討したのです」</p> <p>"ナレ「この動きを受け、当時、保守系議員などから反対の声が上がりました。」</p> <p>平沼赳夫（衆議院議員、当時）「守るべきことは断固、命をかけて守らなければならない。」</p> <p>"ナレ「小泉元総理は反対の声を押し切って皇室典範の改正を目指しました。」</p> <p>小泉純一郎（首相、当時）「女系天皇を認めないということは仮に愛子さまが天皇になられたときに、そのお子</p>		

さんが男でも認めないということですよ、それをわかって反対しているんですかね。」 "

ナレ「しかし、秋篠宮家に第三し、悠仁さまが生まれることをきっかけに皇室典範の改正は見送られました、」

"ナレ「その後、野田政権では女性皇族が結婚後も皇室に残る、女性宮家の創設を軸に検討が進みました。」

野田佳彦（首相、当時）「私も皇室活動の当に安定性といいますかね、緊急性の高い課題であると認識をしております。」 "

"ナレ「しかし、政権交代により安倍政権が誕生し、議論が立ち消えになりました。これまでのところ、安倍総理は女性、女系天皇に慎重な姿勢を見せています、菅官房長官は今日、」

菅義偉官房長官「男系継承が古来例外なく維持されたことの重みなどを踏まえながら慎重かつ丁寧に検討を行う必要があると思っております。」 "

ナレ「果たして、皇位継承を巡る議論はどこまで進むのでしょうか。」

このVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"駒田健吾「では、皇位継承資格のある方々をおさらいしましょう、こちらご覧ください、まずは皇位継承順に秋篠宮様です、そしてその次にその後長男でいらっしゃる悠仁さま、そしてその次が常陸宮様というふうになっています。上皇様の弟様でいらっしゃいます。」

雨宮塔子「男系男子しか天皇になれないといいますと今の皇族では悠仁さまだけになってしまいますね。」

小田部雄次「そういうことになってしまいますね。だからまあ悠仁さまもまだ独身ですからご結婚されて、ご結婚されて男のお子様生まれれば、まあ何の問題もないんですけれども、果たしてそれがどうなのだろうか、と。元にあの今皇室に入られること自体が難しい上に男のお子様を産まなければならないというプレッシャーを抱えてご結婚して下さる女性というのはなかなか難しいかなというのが多くの方が心配していることですよ。」 "

"駒田健吾「そして、あの星さん、現在その安倍政権でなにか検討というのは。」

星浩「実はですね、今回の退位特例法ができた時にその政府が皇位の安定的な継承について、速やかに検討して国会に報告するという事になっているんですけど、実際その本格的な検討は着手されていないんですよ、まあ安倍総理の周辺ってというか支持するグループはどちらかというとその女性皇室・女性宮家に対してあんまりこう積極的ではないとかむしろ反対の声が強いのでそういう影響もあるって言われているんですよ。ただ、やはりその安定的な皇位継承というのは非常に待ったなしの課題ですので、ここでこの検討を進めないということ自体、私はちょっと怠慢かなと思いますので、どうやったらその安定的な皇位継承ができるのか、そういう議論を早く進めてもらいたいですよね。」

雨宮塔子「更にですね、今回の退位は一代限りの措置ということで今後の天皇がどうやって退位していくかということもいずれ問題になっていきますよね。」

小田部雄次「そうですね、あのただ、まあ全身全霊ということで高齢になったまあ上皇陛下が退位、生前退位をされました。今さきほども言いましたように自己研鑽とやはり全身全霊というような言葉と同じ、今の陛下がですね、やはり高齢になって 90、95 とまでご公務をやるのは難しいですよ。それに今回の生前退位によって代替わりがこんなに明るくて華やかなのかということを経験しますと、やっぱりちょっと考えたほうがいいのかなという気がしますね。」

雨宮塔子「ここまでは小田部さんにお話を伺いました。ありがとうございました。」

小田部雄次「ありがとうございました。」

また、番組のクロージングでもこの問題について雨宮キャスターの「新天皇陛下が即位されましたが、皇位継承の問題など課題がありますよね。」というコメントに星キャスターが「そうなんですよ。生前退位も今回特例で対応しましたけれど、次からどうなるかまだはっきりしないというところがありますよね。皇位継承も心配ですからね。やっぱりこういう先を読んで対応していくというのは政治の仕事だと思いますよね。」と応えるシーンがあった。

このトピックに当てられた時間は 402 秒だった。

皇位継承問題について「母方に天皇の血筋を引く女系天皇」と女系天皇については説明され、そうした定義で女系天皇が語られていた。しかし、男系女系という議論はどこを起点に血筋を捉えるのかという点が重要であり、女系というのは母方の血筋を一直線に辿っていけば起点となる血筋までつながるという意味であり、男系は父方の血筋を一直線に辿っていけば起点となる血筋までつながるという意味である。例えば「母方の祖父方の曾祖父」というような血筋のたどり方というのは男系でもなく女系でもないということになるが、今回の報道では「女系天皇」という言葉がどこを起点とするのかということも示されていなかった。起点をどこにするのかによっては「女系天皇」というのは成立しないが、こうした重要な点を報じないというのは、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らして問題であると言える。

女性天皇や女性宮家という議論がある一方で、皇位継承を巡るこれまでの前例から男系天皇というのを重視する立場や皇位継承者不足に対して占領下で廃止された宮家の皇籍復帰という議論もあるが、そうした論点には触れられずに女性天皇のみがクローズアップされていた。これについては放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点に照らして問題のあるものと言える。今回の報道は放送法上、極めて問題のあるものと言えるだろう。

・新天皇陛下即位で各国首脳らが祝意：結論→特に問題なし

新天皇陛下が今日即位されましたことをうけ、トランプ大統領を始め、各国の首脳らから祝福のメッセージが届いているとのこと、およびトランプ大統領の「すべてのアメリカ国民を代表し、もっとも深い祝意を送る、令和は美しい調和を意味していて、この精神の中で我々の同盟が一層深まることを願っている。」や習近平国家主席の「双方が手を携えて努力し、共同で平和的な発展促進し、美しい未来をともに切り開きましょう。」という祝電および、韓国のムンジェイン大統領が祝電で上皇様が過去の戦争と向き合い続けたことに触れた上で、「戦争の痛みを記憶して平和のための堅固な歩みを続けさせることを期待する。」とメッセージを発したこと、ドイツのメルケル首相は「陛下の存在を通じて両国の友好が進化することを確信している」との声明を発表したとのことが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・皇位継承問題

雨宮キャスターの「今回の退位は一代限りの措置ということで今後の天皇がどうやって退位していくかということもいずれ問題になっていきますよね。」や星キャスターの「生前退位も今回特例で対応しましたがけれど、次からどうなるかまだはっきりしないというところありますよね。皇位継承も心配ですからね。」というコメントがあったが、こうしたコメントに代表されるように、スタジオでは一代限りの特例法であるから安定的ではないという論調であった。

しかし、仮に現在の天皇が生前退位される場合も今回と同様に国会が制定することで対応可能であり、その時には今回のケースとは異なり既に前例としての特例法があるわけだから、なにもないところから法案を作るのではなく今回の特例法を参考に法案が作られるのだから、前例があるということ自体で一定の安定性は担保されていると言える。もちろん、その時になって今回と同様の法案が国会で否決されるという可能性も否定はできないが、それをいうのであればそもそも大本の皇室典範からして国会で改廃が可能であり政権交代の結果として皇室典範が改廃される可能性も否定はできず、皇室典範に盛り込めば安定的で、特例法は不安定という議論は成り立たないだろう。

特例法といえば政府予算も財源調達のための特例公債法を毎年制定しているが、特例公債法が必要だから政府予算には安定性がないとは直ちには言えず、皇位継承を特例法で対応するとしても特例法だから安定性がないとは言えないはずである。

今回のスタジオでの論じ方は特例法というものが不安定で一回限りであるとの印象を与えるものであるが、実際には事実として特例公債法が毎年制定され赤字財政が継続しているのと同様に、皇位継承についても生前退位のタイミングで必要に応じて特例法を国会が制定することで、安定的かつ円滑な皇位継承というのはプロセスの観点では十分に可能である。

また、そうしたプロセスではなく現実の皇位継承者という点で現在のままでは不安定だから女性皇族やその子孫にも皇位継承資格を与えるべきだ、のであれば、女性天皇はまだしも、女性皇族と非皇族出身男性の元に生まれた子への皇位継承というのは皇室の歴史上全く例のないことである。

今回の生前退位については、確かに近代史上あるいは現行憲法下においては前例のないことであったが、更に古く皇室の前例を遡れば、生前退位の例を見出すことは容易であるにもかかわらず、そのための法律制定は様々な議論を招き、必ずしも容易な道のりではなかった。このことを踏まえると、皇室の歴史上全く前例のないものを認めるという事それ自体が安定性を大きく損ねうる可能性は十分にある。

VTRで小泉純一郎（首相、当時）が「女系天皇を認めないということは仮に愛子さまが天皇になられたときに、そのお子さんが男でも認めないということですよ、それをわかって反対しているんですかね。」と述べていたが、「それをわかった上での反対」というのもあり得るわけで、非男系天皇を認めることが皇位継承問題をかえって不安定なものとする可能性も十分に考えられる。

スタジオでの論調および今回の報道構成では皇位継承者を男系男子に限定するのではなく非男系を認め、また特例法ではなく皇室典範に盛り込めば安定性を確保できるというものであったが、上述のように検討したところ、そうした論調に従ったからといって安定性を確保できるとは必ずしも言えない。

そうしたもので安定性を確保できるという認識や期待を視聴者に植え付けるのは、報道番組としていかなる

NEWS23 週刊報告 詳細版

のなのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2019 年 5 月 2 日
出演者：【キャスター】 駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：『令和』人々の声、天皇陛下の英国留学、中学侵入容疑者が供述		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『令和』 人々の声 ・皇居など上空でドローン目撃 ・天皇陛下の英国留学 ・GW 10 連休 ・「あおり運転」一部始終 ・ベネズエラ クーデター事件 ・中学侵入容疑者が供述 ・ルーマニアで巨大竜巻 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・令和を祝う人々 ・10 連休 ・着陸寸前に乱気流巻き込まれ ・露・スパイイルカ疑惑 ・シャーロット王女が 4 歳に ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『令和』 人々の声→結論：放送法第四条の観点から問題なし。 今回は新しく迎えた令和の時代について人々の声を取り上げたインタビューが放送された。今トピックに充てられた報道時間は 98 秒で、経緯説明が主な内容であった。 今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。 ・天皇陛下の英国留学→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 今回は新しく即位された今上陛下の英国留学について報道された。護衛として今上陛下の英国留学で常に傍らにあった二人の元警察官にインタビューした内容で、今上陛下のお人柄などが紹介された。今トピックに充てられた報道時間は 356 秒で、経緯説明が主な内容であった。 今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。 ・中学侵入容疑者が供述→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 今回は悠仁内親王殿下の通われる中学校に侵入し、刃物を置いたとされる容疑者が天皇制に不満があったことなどを新たに供述していることなどが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 40 秒で、経緯説明が主 		

な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

・今上陛下の英国留学の中で、陛下の生活ぶりなどが紹介される内容があった。以下に該当部分を書き起こす。
ナレーター「陛下は 1983 年から 85 年までオックスフォード大学に留学されました。まだ、浩宮さまと呼ばれていたころです。留学中の 2 年間、陛下のそばには常に警察官のロジャー・ベーコンさんとブルース・エアーさんの姿がありました。二人は陛下が住んでいた学生寮の隣の部屋に住み込み、一週間交代で身辺警護に当たっていたのです。陛下の求めに応じて、ヒロと呼んでいたといいます。」

ベーコン「彼は普通の人間として過ごすことを望んでいました。ただの学生として。」

ナレーター「寮では初めての一人暮らしを経験されました。洗濯機に洋服を詰め込みすぎて、水を溢れさせてしまったことも。困ったとき、陛下が頼ったのは警護の二人の警察官でした。」

ブルース・エアー氏「私がシャツのアイロンがけのやり方を教えたんです。(それまで使ったことはなかった?)
もちろんそんな経験はなかったはずですが、でも、しっかりやっていましたよ。」

ナレーター「二人は買い物にも同行しました。当時の映像には陛下がクレジットカードを使って、服を買う姿が収められています。また、学生仲間とは大学近くにあるパブによく通われました。」

ベーコン「いろんなことを試してみて、本当に幸せそうでした。自由の身ですからね。」

ナレーター「学生仲間とは時にディスコにも出かけましたが、ジーンズを履いていたため、時にドレスコードを理由に入店を拒否され、警護のベーコンさんだけが入店を許されたこともあったといいます。そうした状況も心底面白がっていたという天皇陛下。」

報道の狙いとしては陛下に対する親しみの念を喚起するものと思われるが、一歩間違えれば陛下を貶める内容になりかねない。今回の報道が陛下を貶める内容であると断定することはできないが、失敗談などをあえて放送する意味はないように思われる。今回のような報道が重なれば、陛下を軽んじる風潮につながりかねないものであると感じられた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月3日												
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙														
検証テーマ：令和初の憲法記念日、トランプ大統領のイラン制裁、金正男殺害事件														
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和初の憲法記念日 ・トランプ大統領のイラン制裁 ・大正天皇に仕えた女官の肉声発見 ・未解決の朝日新聞襲撃事件からきょうで23年 ・金正男殺害事件 ・スポーツ報道 ・俳優のピーターメイヒューさんが死去 ・愛知県のゲームセンターで「太鼓の達人」盗まれる ・10連休後半突入4日以降で渋滞ピークへ ・天気予報 														
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨														
<p>・令和初の憲法記念日：結論→問題あり</p> <p>令和初の憲法記念日ということで、憲法について取り上げられており、このトピックでは天皇について、憲法をゲームで学ぶ子どもたち、憲法改正論議という3つが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は402秒で、時間配分及び比率は以下の通りだった。</p>														
<table border="1"> <caption>放送時間配分表</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天皇と憲法</td> <td>544</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>改正論議</td> <td>280</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>憲法とゲーム</td> <td>170</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	天皇と憲法	544	55%	改正論議	280	28%	憲法とゲーム	170	17%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)												
天皇と憲法	544	55%												
改正論議	280	28%												
憲法とゲーム	170	17%												

【天皇と憲法】

天皇と憲法については以下に朱記したように VTR が取り上げられていた。

"駒田健吾「GW の後半、令和になって三日目ですが今日も皇居前には沢山の人が着ています。」

インタビュアー「皇居にいらっしゃったのはなにか理由があるのでしょうか。」

女性「令和になって、とりあえずは早めのうちにちょっと皇居に、」

男性「明日一般参賀ですけどこれだけの混みようですので、令和を祝うこともちょっとできなかったのが皇居を見学したいなと思ひまして。」 "

"ナレ「令和となって 3 日目、まだまだ続く祝賀ムード、ところが今日が何の日か聞いてみると。」

男性「国民の休日。」

男性「文化の日」

男性「建国記・・・、憲法」

ナレ「改元フィーバーの影で色あせた感もありますが、今日は憲法記念日、天皇と憲法について少し考えてみます。天皇は憲法第一条で日本国の象徴、日本国民統合の象徴と明記されています。」 "

"天皇（先月 30 日）「象徴としての私を受け入れ支えてくれた国民に心から感謝します。」

天皇（今月 1 日）「憲法に則り日本国、及び日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを近い。」

ナレ「今回の退位と即位にあたり上皇様と天皇陛下がともに口にされていた象徴という言葉。では改めて象徴とは。」

男性「人間としての見本みたいな。」

女性「あるべき姿、まあ代表っていうか日本を代表した姿とかイメージを持っています。」

女性「震災のあったところにもひざまずかれて国民の人々に歩み寄っていく。」

ナレ「国民の間にも広く定着している象徴としての天皇。」 "

"ナレ「かつて、明治時代に定められた大日本帝国憲法では。」

音声「天皇は国の元首にして統治権を総覧し。」

ナレ「と、天皇は象徴ではなく元首と定められていました。戦時中は天皇に主権があるとの解釈が主流となり、天皇は神格化されていきました。これに対し国民主権を定めた現在の天皇では天皇を象徴と位置づけることにしたのです、ところが 2012 年に自民党が示した憲法改正草案は。」

音声「天皇は日本国の元首であり日本国および日本国民統合の象徴であつて。」

ナレ「およそ 70 年前に削除された元首の文言が復活、その理由について当時、自民党は。」

音声「我が国において天皇が元首であることは紛れもない事実です。」 "

中谷元（衆院議員、自民党_2012 年衆院憲法調査会）「天皇は外交関係において現行憲法下でも天皇は国を代表する面を持っており、対外的にもこのことを明確化したほうが良いと考えます。」

ナレ「広辞苑によると元首とは一刻を代表する資格を持った首長のこと。アメリカであればトランプ大統領、中国であれば習近平国家主席、イギリスであればエリザベス女王が元首に当たります。」

"ナレ「しかし、2 年前の憲法審査会では。」

岸本周平（民進党衆院議員）「行政権を保持していない天皇をあえて憲法において法的に元首であると規定することは誤解を招く恐れがあるのではないのでしょうか。」

太田昭宏（公明党衆院議員）「権威は持つけれども権力は持たないという象徴天皇制の本質論から言ってそうした元首ではない、ということが大事なんだろう。」 "

"ナレ「憲法学者は。」

木村草太（首都大学東京法学部教授）「天皇を元首と明記すると条約の締結だとか外交上の代表がなにか必要になった時に天皇がその任を負うというふうになる、そのように解釈される可能性が出てくるということになります。まあ動機としては戦前復古的な、天皇の地位を増強する、そういう国がいい国だという思いが現れているのだと思います。」 "

"ナレ「では、この改正案を掲げている自民党の責任者はどう考えているのでしょうか。自民党の憲法改正推進本部庁、下村衆院議員を直撃しました。」

下村博文（自民党憲法改正推進本部長）「もう一度議論し直す必要があると思いますね。あるいは自民党が野党の時にかなりとんがったそうした視点で議論した経緯がありますから、その後、衆議院選挙も2回以上、参議院背居もした中で、当時議論した国会議員というのはもう半分も残っていませんから。」 "

"ナレ「7年前の野党時代、かなりとんがった視点で作った草案だと話す下村氏。」

インタビュアー「これだけ象徴という言葉が国民に定着していて今後、それをまた復活させるというか議論の俎上に上げるということについてはどう思いますか。」

下村博文「今の段階では考えておりません。」

インタビュアー「日本国における元首といえば、下村さんの中ではどなたを思い浮かべますか。」

下村博文「ちょっと今はコメントしません。」 "

"ナレ「象徴と元首、皇居を訪れていた人たちはどう考えるのでしょうか。」

女性「なぜ象徴を元首に変えたいのかな、って変えるのかなってという経緯と思いと今後のことがわかればいいなと。」

女性「象徴って私はなんか包まれているようなイメージなんですけど、元首ってなっちゃうとなんか国民の中にいた象徴が政治ともっと結びついちゃうようなイメージそういうふうになっちゃうのかなというふうに思います。」 "

VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"雨宮塔子「今日付けの毎日新聞の世論調査によりますと象徴天皇制について現在よりもっと権威と力のあるものにすべきだというのが4%であるのに対し、現在の象徴天皇制でよいというのが74%と圧倒的に多いんですね。」

星浩「そうですね、この平成の30年間、天皇陛下が被災地の訪問とか慰霊の旅というのを重ねられて象徴天皇というのは定着したという気がしますよね、ですから象徴天皇によって元首論議というのは乗り越えられてしまったような気がしますよね。」

駒田健吾「自民党の改正草案には元首という言葉があったんですけど、今日、下村議員に聞いてみてですね、あの憲法審査会等で今後提案するという事は今の段階ではない、と以外にも、意外と申しますか熱はないなというふうに感じました。」

星浩「そうですね、自民党の草案は野党の時に作ったもので、自民党のそのコア支持者を意識したものなんですよね、ですから今回、自民党もですね、この元首論議、国民の意識とは乖離してきたんじゃないかなというふう

に自覚しているんだと思いますね、ですから元首論議が棚上げされるのは暫く続くと思いますね。」 "

【ゲームで憲法を学ぶ子どもたち】

ゲームで憲法を学ぶ子どもたちについて以下に朱記したように取り上げられていた。

"ナレ「さいころのめに一喜一憂する子どもたち、一見普通のボードゲームですが。」

こども「三才の時に受けたテストで人生のすべてが決まります、ハロウィンは禁止です。」

こども「結婚相手はくじ引きできます、くじ引きは嫌やな。」

ナレ「このボードゲームの舞台、それは憲法がなくなった日本です。その影響で各都市では様々な不幸が起きているという設定でゲームは始まります。」

こども「給料は社長の気分が決まります。最悪やん、起こってたら最悪でしょ」

こども「一年のうち 360 日働きます、めっちゃ大変。」

ナレ「プレイヤーは協力して各年を回り理不尽な状況を解決していきます、その切り札は。憲法のバリアーを貼り、解決するのです、カードに書かれた数字は条文を表しています、例えば労働者を守るのは憲法 27 条、」

こども「ちゃんとした条件で働ける 27 条かな、ここに書いてある数字が。」

ナレ「こちらでは個人の尊重などを規定した憲法 13 条のバリアーを使いました。」

こども「みんな違ってみんないい。」

記者「それをつけて大阪のなにがなくなったんですか。」

こども「髪型はリーゼント以外認めません、ボケツッコミは認めません。」 "

"ナレ「憲法の使い方をゲームで考える試み、企画した弁護士団体は。」

小谷成美（明日の自由を守る若手弁護士の会 弁護士）「今は憲法があるから怒らないけれども、憲法がもしなかったら今度はあるかもしれないということをできるだけ具体的に出すようにしました、憲法ってなにかって知ってもらってその上でどうするかっていう意見をそれぞれが持っていたきたいなど。」 "

【憲法改正論議】

改憲論議では以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

記者「令和最初のゴルフはいかがですか？」

安倍総理「楽しんでますよ。」

ナレ「都内では改憲派の集會が開かれ安倍総理がビデオメッセージを寄せました。その中で自身の 2 年前のメッセージを引用し、こう話しました。」 "

"安倍総理「2020 年を新しい憲法が施行される都市にした、と申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません。」

ナレ「安倍総理は憲法を改正し 2020 年に施行する目標に変わりはない、と強調、憲法 9 条に自衛隊を明記する意欲を改めて示しました、」

ナレ「憲法にしっかり地自衛隊と明記し違憲論争に終止符を打つ私はその先頭に立って、責任をしっかりと果たしていく決意です。」 "

"ナレ「安倍総理のもとでの会見に反対して嫌等の投手らは憲法集會に参加、会見の阻止を訴えました。」

枝野幸男「権力を憲法によって拘束するというまっとうな社会を作るためにしっかりと連携をして安倍政権を倒す。」

志位和夫「安倍首相は自衛官の子供が悲しむと言って、9条に自衛隊を書き込むんだといいます、しかし皆さん、子供参賀一番悲しむのはお父さんが戦争で命を落とすことなんじゃないですか。」

ナレ「安倍総理が会見に強い意欲を見せる一方、実際の論議は国会で進んでいません。その一因となったのは身内、自民党の議員による失言です、党内の旗振り役で憲法改正推進本部長の下村氏は、去年11月、」

下村博文「率直に議論しましょうということさえ議論しなかったとしたら、それは国会議員として職場放棄ではないですか、と。」

ナレ「野党側を職場放棄と批判、更に先月には萩生田幹事長代行が国会の憲法審査会についてこんな発言を。」

萩生田幹事長代行「ワイルドな憲法審査を自民党は進めていかなければならない、ここまで丁寧に我慢してきた令和になったらキャンペーンを張るしかない。」

ナレ「二人の発言は野党側の反発を招きそれぞれ謝罪に追い込まれました。憲法審査会は今の国会になって先週ようやく初めて開かれましたが、憲法改正そのものの議論はまだ行われぬ見通しです。」

VTRを承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

「雨宮塔子「安倍総理が率先して憲法改正の旗を振ってきましたがその割には国会での議論はほとんど進んでいない、という状況ですね。」

星浩「安倍総理たちの議論の進め方にちょっとボタンの掛け違いがあったんですね、どこがボタンの掛け違いかといいますとですね、普通の法律は衆議院と参議院の過半数でまあ人気がなくとも成立しますよね。ところがその憲法改正は衆議院と参議院の三分の二以上の賛成があって国会が国民投票に提起するっていうことになっているんですね、それで改正が実現するわけですが、例えばその3分の2を確保するために自民党が強行採決をして与野党が喧嘩した状態で国民投票ということからすると国民からするとやっぱり戸惑いますよね、さらに国も分断されてしまう、そういうこともあるのでとにかく話し合いをして与野党合意の上でやりましょうということとずっとやってきたんですけど、安倍政権になって強硬姿勢に変わりましたね、まとまるものもまとまらなくなってきた、ですからワイルドに進めるだけではこの話はまとまらないんだということを実感してもらいたいですね。」

現行憲法との対比で大日本帝国憲法については「天皇は国の元首にして統治権を総覧し」という条文の紹介とともに「天皇は象徴ではなく元首と定められていました。戦時中は天皇に主権があるとの解釈が主流となり、天皇は神格化されていきました。」と説明されていた。しかし、大日本帝国憲法は1889年に公布、1890年に施行されたものであり、天皇に主権があるという解釈すなわち天皇主権説が主流となったのは1935年の天皇機関説事件以降の話である。それまでの日本では「統治権は法人である国家に属し、国の最高機関である天皇が国务大臣の輔弼を受けて行使する」という天皇機関説が主流であり、高等文官試験の歴代試験委員も天皇機関説論者であった。また、そもそも大日本帝国憲法の公布直後に出版された伊藤博文による大日本帝国憲法の逐条解説書『憲法義解』においても天皇機関説の発想がベースとされていたことから、1935年から1945年の10年間は異常事態であり、大日本帝国憲法の紹介として1935年以降のみを取り上げる一方で、そうした解釈が主流となってしまった経緯は取り上げないというのは極めてアンフェアな報じ方と言える。

こうした取り上げ方は放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題であると言える。

・トランプ大統領のイラン制裁：結論→特に問題なし

去年5月イラン核合意から離脱したトランプ政権はイランに対する経済制裁を再び発動しイラン産原油の輸入を禁止したこと、当初は日本や中国など8つの国と地域を禁輸の対象から外したが、昨日になって日本などの除外を打ち切ったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は187秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・金正男殺害事件：結論→特になし

北朝鮮の金正恩党委員長兄のジョンナム氏がマレーシアの空港で殺害された事件で実行犯として有罪判決を受けたベトナム人の女性が刑期を終えて刑務所を出所し故郷のベトナムに帰国したことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は40秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・令和初の憲法記念日

星キャスターがスタジオで「例えばその3分の2を確保するために自民党が強行採決をして与野党が喧嘩した状態で国民投票ということからすると国民からするとやっぱり戸惑いますよね、さらに国も分断されてしまう、そういうこともあるのでとにかく話し合いをして与野党合意の上でやりましょうということできずとやってきたんですけど、安倍政権になって強硬姿勢に変わってね、まとまるものもまとまらなくなってきた、ですからワイルドに進めるだけではこの話はまとまらないんだということを実感してもらいたいですね。」とコメントしていたが、そもそも憲法というのは政府に対する基本的な要求事項及び禁則事項を定めたものであるのだから、憲法改正論議で国が分断されるとしたら、既に政府に対する基本的な要求事項や禁則事項すら共有できていなかったということが明るみになるということであり、実際には存在していたがこれまで目をそらしてきた分断が白日のもとに晒されるというだけの話なのだから、憲法改正論議によって分断が生まれる、というのは誤りであり、憲法改正反対のためにする議論であろう。

そもそも与野党の間で憲法改正について合意ができないあるいは、議論のテーブルにすらつけないのであれば、求める憲法についても決定的に食い違っている可能性が高く、そうであれば同じ憲法・同じ政府の下で共生していくよりも、それぞれが異なる憲法を制定し異なる政府の下で暮らし別々の国に住みながらも貿易を通じて経済的には緩やかに結びつき共生する、というのも選択肢としてはあるのではなかろうか。